

主題	養護老人ホームと地域の連携の実現に向けた取り組みについて
副題	たのしく かかわりを さがしに ごー！！

地域との交流	養護老人ホーム
--------	---------

研究期間	6ヶ月	事業所	養護老人ホーム 高砂園
------	-----	-----	-------------

発表者：重信 麻理子（しげのぶ まりこ）	アドバイザー：
----------------------	---------

共同研究者：小林 扶希子 倉持 孝美 神村 美沙子

電 話	03-3607-4060	メール	r-kato@jinseisha.jp
FAX	03-3607-4654	URL	http://www.jinseisha.jp

今回発表の事業所やサービスの紹介	所在地：葛飾区西水元 養護老人ホーム 家庭環境、生計などから居住生活が困難な高齢者に生活の場を提供する施設。 施設概要：定員 140 名 男性 61 名 女性 76 名 平均年齢：81.1 歳 要支援 1：2 名 要介護 1：4 名 要介護 2：3 名 要介護 4：2 名 計 11 名 平均在園年数：5.6 年 車椅子使用者：9 名 歩行器使用者：23 名
------------------	--

《1. 研究前の状況と課題》

高砂園では平成19年度に園内ボランティア部を創設し、利用者の生きがいや社会貢献を実感する機会を生み出すため、洗濯物たたみ、ゴミ捨て、食堂のテーブルクロス拭き、理容の日に使用するタオル巻き、行事の準備、新聞たたみ、花木の手入れなどの活動を継続して行ってきた。その際に今後の取り組みとして「園内の活動を地域への広がり発展できないか」との課題があった。

また、当園は葛飾区地域振興部より福祉施設の避難所として指定されているが、地域の方との交流をはかる機会が少なく、現在の状況では災害時、非常時の連携を取る事が難しいと考えられた。

そこで、園内ボランティアを地域へ拡大し、地域社会への貢献を通し、地域との連携を図る活動の一環として「クリーン作戦」を検討した。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

本研究の目標は園内ボランティアを地域に拡大したクリーン作戦により、従来の園内ボランティアとの差異を検証することにある。

期待する成果としては、クリーン作戦を継続していく中で地域の方と挨拶をはじめ、コミュニケーションの場として継続し、利用者のやりがいを見いだせるようにしていき、今後災害時、非常時に避難所として我が園を利用しやすいように地域の方との交流を深めて行くことにある。

《3. 具体的な取り組みの内容》

「クリーン作戦」とは利用者による当園周辺地域の清掃活動であり、以下の要領で実施し、実施後、参加者にアンケートを実施した。

- ①利用者全体にクリーン作戦の実施を告知。
- ②職員が事前に安全面を配慮し、ルートの確認をした。
- ③興味のある利用者を対象に説明会を実施。
- ④声かけ、ポスターの掲示、実施日程の告知。
- ⑤ゴミ袋、トンブ、ビニール手袋、麦わら帽子の準備
- ⑥初めに日程の掲示をし、当日放送呼びかけ
- ⑦1回の活動に参加する職員は、2～3名
- ⑧キャッチコピーを声に出してから出発。
- ⑨活動時間は午前中、昼食前の30分間。

《4. 取り組みの結果と考察》

第一回目の参加者16名 うち車椅子1名
第二回目の参加者7名 うち車椅子1名
第三回目の参加者21名 うち車椅子2名
第四回目の参加者11名 うち車椅子2名
第五回目の参加者17名 うち車椅子2名
平均14名の利用者がクリーン作戦に参加している。

活動中に地域の方から「ご苦労様」「有難う」など声をかけられていた。

3回目の活動を終えた時点で、継続して参加している利用者を対象に意見を聞いた。

普段グループワークに参加していない方より「出来る事ならなんでもやろうと思った」

「ポスターをみて興味が湧いた」

軽度の認知症を持つ方より「皆がやっていて楽しそうだった」「体を動かしたい、何か役割が欲しかった」

他利用者との関わりが少ない方から「コミュニケーションをとるきっかけになった」「自由参加なので気負わずに出来た」など意見が聞かれた。

《5. まとめ、結論》

地域住民と利用者の交流の機会はわずかながら作り出せた。今後は力まずにゴミ拾いと散歩という形で気楽に、気長に継続していくことで交流を拡大できると考えられる。また現時点では活動日、活動内容の周知が満足にできていない状況である為、ポスター及び園内放送の告知を強化していく必要があると思われる。

非常時災害時の際に地域の方が避難所として我が園を利用しやすいように交流し、地域の方へのアンケートも実施していく必要が感じられた。

利用者の自発的な活動的な活動を援助していき活動の場を園周辺から地域との関わりをひろげていくことを目標に活動が続ける。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究発表を行うにあたり、ご本人に口頭にて確認をし、本研究発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

葛飾区公式サイト 2013/4/8 参照

<http://www.city.katsushika.lg.jp/index.html>

《8. 提案と発信》

養護老人ホームの利用者も、心身の機能低下が顕著な方が増えている状況にある。

当施設では、介護予防活動として、虚弱者を対象とした【元気いっぱい体操】や、講師の指導による【合唱】【茶道】【書道】【俳句】また、職員が中心となり、【料理】【歩け歩け会】【頭の体操】等の取り組みを行い、施設全体で介護予防に取り組んでいる。

【メモ欄】